

# 雨漏検査業務についての概要説明書(検査重要事項)

※ 雨漏検査は公正中立な第三者機関である全国雨漏検査協会会員によって行われます

[ 現地確認 ] \*検査当日に行う場合もあります。

状況確認

雨漏箇所の状況確認

現地で雨漏状況をヒアリングし、問診表を作成します。検査対象は原則として過去1年以内の雨漏発生箇所(雨漏修理済の場合はそれ以降にも雨漏した箇所)に限ります。ならびに、検査方法の説明(基本は雨漏再現法)と検査日の打合せ(1日に1箇所と計算。1日で終了しない状況もありますし、一回の検査で雨漏原因箇所の全てを見つける事を確約するものではありません)を行います。検査は検査依頼主様の御見積書などの承諾後(署名・捺印FAXの返送後)となります。

[ 検査当日 ] \*検査方法・手順等は一任して頂きます。検査を円滑に進行させるには居住者様の御理解と御協力が必要です。

検査準備

検査用機材の設置

検査開始前に検査機材を配置(建物内を通行します)します。足場や近隣対策などは事前の打合せによります。検査の精度向上と時間短縮のために内外装材を撤去する場合、撤去・復旧などに係る全費用は別途です。検査で使う水道・電気代は検査依頼主様御負担となります。便所を拝借します。

検査開始

水による撒水開始

\*短時間で雨漏状態を再現させるために高压で全方向から撒水する場合があります。

事前のヒアリングと当日の目視調査から雨漏の原因箇所になり得るポイントをピックアップし、それらを中心に検査対象を様々な降雨状態にして検査を行います。様々な降雨パターンを想定しながら屋根や壁などに撒水して行きますので、問題の雨漏箇所以外からも水が漏れ出て来る場合があります。これは将来の雨で発生するかもしれない潜在雨漏箇所であり、それらによる室内の汚損や検査に係る汚損及び電気ショート等に係る事故・故障はすべて免責とさせていただきます。検査中に浸水を確認(雨漏状態を再現)し漏出しをコントロール出来るようになれば、次のステップに移ります。

検査液での撒水

雨漏箇所の原因の可能性のあるポイントを区分けし、検査液を集中的に撒水します。検査液を使用するタイミングや方法などは全て雨漏検査技師の判断に一任して頂きます。そして、漏れ出てきた液体が検査ライトの照射に反応し青白く発光した時、検査液をかけている箇所こそが雨漏の原因箇所と判定されます。但し希にですが、検査液がコンクリート・モルタル・ALC・断熱材等を通過する状況では、検査液成分が濾過されてほとんど発光しない場合もあります。

その他の原因箇所の追求

雨漏の原因箇所は一箇所とは限りませんので、現地状況を確認しながら他の部分についても上述の検査作業を繰り返して検査精度を高めて行きます。但し、水はけの悪い箇所や常時水の溜まる箇所などに雨漏の原因箇所がある場合には検査精度が低下したり、検査時間が長引きます。雨漏の原因箇所周辺の状況によっては雨漏改修工事(または応急処置)の後に雨漏2次検査が必要になる場合もあり得ます。また、建物が非常に乾燥している場合も長引きます。なお、事前にお伺いしていた雨漏箇所に関係しない別の範囲の検査を当日に御希望される場合、追加費用が発生致します。

検査終了

機材撤収・雨漏検査の記録

検査依頼主様から検査終了の承諾を得てから、検査機材を撤収いたします。検査で判明した雨漏の原因箇所や漏水状態などは写真(銀塩・デジカメ)やビデオ等に記録して、後日提出の雨漏検査診断書等(オプション)に添付させていただきます。

[ 検査まとめ ] \*雨漏検査診断書または検査報告書はオプションです。

診断書提出

診断書提出・検査保証と免責

雨漏検査の結果報告は、検査内容を雨漏検査診断書や報告書等にとりまとめて提出します。雨漏検査日より1年以内(検査済証記載の竣工検査日から2年以上経過する建物と検査済証の無い建物については雨漏検査日より半年以内とする)に同一箇所から雨漏が発生した場合は、技術料無償にて追加検査を行います。但し、雨漏再現法の当検査では確実に原因を1箇所特定できているので検査の責務は果たせています。故に雨漏に関連するその他の保証や責務はありません。なお、雨漏再発の原因が改修工事の不完全や地震・劣化損傷・増改築などに起因する場合は全額有償となります。

[ 検査建物居住者様記入欄 ] 記載内容について了承致しましたので、雨漏検査を依頼いたします。

平成

年

月

日

御名前:

印

御住所:

携帯電話:

/ FAX:

※印の項目は必ずご記入ください

# 雨漏検査見積依頼書

※会社名・支店名	※住所（〒            ）
部署名	役職名
※依頼者名:	※依頼者携帯電話:
※検査希望日   年   月   日	TEL:                      FAX:
※報告書: 不要/必要（簡易・標準・紛争版）	E-Mail:
※支払日: 毎月   日【請求書×日: 毎月   日】※会社独自の専用請求書の存在【有/無】	

このままFAXで送り下さい

全国雨漏検査協会会員

**FAX: 0237-35-4705**

HOUSE,Dr! 東北テクニカルセンター

TEL:0237-53-0082 FAX:0237-35-4705



**全国雨漏検査協会**

株式会社 笹金板金

対象物件・建物概要（検査を円滑に進めるため できるだけ詳しくご記入ください）

検査物件住所			
お客様名	TEL		
	FAX		

1. 築年数                      (    ) 年 (    ) ヶ月【竣工年月:    年    月】

2. 建物の構造 (    ) 階建て   A.木造   B.鉄骨   C.鉄筋   D.その他 (    )

3. 用途                      A.住宅   B.倉庫   C.工場   D.その他 (    )

4. 外壁                      A.窯業系サイディング   B.金属サイディング   C.ALC  
D.モルタル   E.その他 (    )

5. 屋根                      A.金属屋根葺き            B.スレート            C.かわら  
D.防水屋根   E.その他 (    )

6. 雨漏りはいつ頃から   A.つい最近 (    ) 月 (    ) 日ごろ   B.半年以上前  
C.1年以上前   D.その他 (    )

7. 雨漏箇所                A.1箇所   B.2箇所   C.3箇所   D.不明

※すべて明記してください   (    ) 階の (    )  
                                  (    ) 階の (    )  
                                  (    ) 階の (    )

8. 雨漏りの程度            A.ショボショボの雨でも漏れる   B.大雨になると漏れる  
C.にわか雨ぐらいいでも漏れる   D.その他 (    )

9. 降り出してから濡れるまでの時間   A.すぐ   B.30分以内   C.1時間以内   D.その他

10. 漏水時の雨や風の状況   A.風雨の向きによって変わる   B.あまり変わらない

11. 天井裏点検口            A.ある   B.ない

12. 過去に修理したことがありますか?   A.ある   B.ない

13. (前問で「はい」の方のみ)   A.まったく直っていない   B.多少良くなった  
C.別の箇所から漏りだした   D.その他

14. 雨漏り箇所の平面図・立面図・等の写真があればお送りください【Mailで添付歓迎】